



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月1日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL https://housefoods-group.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 博史
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 仲川 宜秀 (TEL) 03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	145,766	1.6	8,572	15.0	9,423	17.6	5,565	28.6
2018年3月期第2四半期	143,434	4.7	7,456	39.3	8,010	49.0	4,328	2.9

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 7,566百万円(△3.8%) 2018年3月期第2四半期 7,867百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	54.16	—
2018年3月期第2四半期	42.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	383,158	288,593	67.0	2,496.56
2018年3月期	378,864	283,719	66.5	2,450.71

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 256,524百万円 2018年3月期 251,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2019年3月期	—	22.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,700	3.4	18,000	10.5	19,600	13.9	11,600	24.0	112.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細はP11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期2Q	102,758,690株	2018年3月期	102,758,690株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	7,520株	2018年3月期	6,963株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期2Q	102,751,432株	2018年3月期2Q	102,752,936株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(追加情報)	13
3. 補足情報	14
(1) 業績の状況	14
(2) グループ会社数	15
(3) 連結損益計算書の状況	15
(4) 連結貸借対照表の状況	17
(5) 連結キャッシュ・フローの状況	17
(6) 設備投資の状況	18
(7) 減価償却費の状況	18
(8) 主要経営指標等	18
(9) 通期目標	19
(10) 参考情報	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2018年4月からスタートした第六次中期計画において、“「食で健康」クオリティ企業への変革”をハウス食品グループのめざす姿と位置づけ、企業市民として果たすべき「3つの責任」（お客様に対して、社員とその家族に対して、社会に対して）の全てにおいて、クオリティ企業への変革に向けた取組を推進しております。

・「3つの責任」重点取組テーマ

お客様に対して	国内成熟市場におけるイノベーションの創出と海外成長市場における事業展開の加速 (バリューチェーン革新、R&D変革、海外事業の成長拡大と事業基盤の強化)
社員とその家族に対して	ダイバーシティの実現 (働き方変革の実行、多彩な人材の獲得と活躍できる場づくり)
社会に対して	当社グループが考えるCSR(Creating Smiles & Relationships)活動を通じた循環型モデルの構築と健康長寿社会の実現

当第2四半期連結累計期間の売上高は、香辛・調味加工食品事業、海外食品事業の伸長などにより、1,457億66百万円、前年同期比1.6%の増収となりました。

営業利益は、増収効果や広告宣伝費等のマーケティングコストの減少により、85億72百万円、前年同期比15.0%の増益となりました。経常利益は94億23百万円、前年同期比17.6%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億65百万円、前年同期比28.6%の増益となりました。

セグメント別の業績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
香辛・調味加工食品事業	67,909	101.5	5,539	116.1
健康食品事業	16,966	99.1	1,104	131.4
海外食品事業	12,233	114.0	1,668	117.8
外食事業	25,739	99.7	△142	—
その他食品関連事業	30,757	100.6	1,190	123.2
小計	153,603	101.6	9,359	117.7
調整 (消去)	△7,837	—	△788	—
合計	145,766	101.6	8,572	115.0

(注) 1. 調整 (消去) の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

ハウス食品(株)は、「食の外部化」等の影響もありルウカレーが微減収となる一方、レトルトカレーは販売を伸ばしました。スナックは、前年同期の反動から減収となりましたが、新製品の市場浸透が進んだデザート、およびラーメンは前年を上回りました。

また、前第3四半期連結会計期間よりマロニー(株)を連結業績に組み入れたことも売上を押し上げる要因となりました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は679億9百万円、前年同期比1.5%の増収、営業利益は55億39百万円、前年同期比16.1%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は8.2%となり、前年同期より1.0pt向上いたしました。

<健康食品事業>

機能性スパイス事業は、主力ブランド「ウコンの力」がお客様の飲酒シーンが多様化する中で依然厳しい販売環境が続きました。

ビタミン事業は、「C1000」シリーズの瓶飲料が苦戦し前年を下回りましたが、ゼリー飲料が牽引する「1日分のビタミン」が伸長し、全体では販売を伸ばしました。

また、本年8月より当社グループ独自技術による「まもり高める乳酸菌L-137」を配合した製品シリーズの販売を開始しております。

以上の結果、健康食品事業の売上高は169億66百万円、前年同期比0.9%の減収、営業利益はマーケティングコストの効果的運用を徹底したことにより、11億4百万円、前年同期比31.4%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は6.5%となり、前年同期より1.6pt向上いたしました。

<海外食品事業>

米国豆腐事業は、アジア系市場の安定成長に加え、米系市場や業務用市場でも着実に拡大いたしました。労務費や物流費の増加影響から増収減益となりました。

中国カレー事業は、特に業務用製品において新規顧客の開拓が奏功したことから販売を伸ばし、増収増益となりました。

タイにおける機能性飲料事業は、「C-vitt」がCVS等で好調に推移したことから増収増益となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は122億33百万円、前年同期比14.0%の増収、営業利益は16億68百万円、前年同期比17.8%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は13.6%となり、前年同期より0.4pt向上いたしました。

<外食事業>

株式会社番屋は、売上高は底堅い推移となりましたが、製造コストの上昇や直営店の人件費増などから営業減益となりました。直営店とフランチャイズ店を合算した国内店舗の売上状況は、全店ベースで前年同期比1.3%増、既存店ベースで同1.1%増となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は、国内1,303店舗、海外163店舗となりました。

以上の結果、外食事業の売上高は257億39百万円、前年同期比0.3%の減収、営業利益は株式会社番屋を連結対象子会社とした際に発生したのれんや無形固定資産の償却負担から、1億42百万円の損失（前年同期は営業損失39百万円）となりました。結果、売上高営業利益率は△0.6%となり、前年同期より0.4pt減少いたしました。

<その他食品関連事業>

運送・倉庫事業を営むハウス物流サービス(株)は、食品企業による共同取組「F-LINE」の全国展開を見据え、事業最適化に向けた取組を進めております。

コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む(株)デリカシェフは、開発力強化と生産性改善に注力しております。

農産物・食品等の輸出入および販売を営む(株)ヴォークス・トレーディングは、引き続き高品質原料のソリューション提案の強化に取り組んでおります。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は307億57百万円、前年同期比0.6%の増収、営業利益は11億90百万円、前年同期比23.2%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は3.9%となり、前年同期より0.7pt向上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

総資産は、3,831億58百万円となり、前連結会計年度末に比べて42億94百万円の増加となりました。

流動資産は、現金及び預金や有価証券が減少した一方で、受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加したことなどから、17億72百万円増加の1,430億17百万円となりました。固定資産は、のれん、機械装置及び運搬具が減少した一方で、投資有価証券および建設仮勘定が増加したことなどから、25億22百万円増加の2,401億40百万円となりました。

負債は、945億65百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億80百万円の減少となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払金や未払法人税等が減少したことなどから、13億94百万円減少の552億54百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が増加したことなどから、8億14百万円増加の393億11百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が減少した一方で、保有する投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて48億74百万円増加の2,885億93百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は67.0%（前連結会計年度末は66.5%）、1株当たり純資産は2,496円56銭（前連結会計年度末は2,450円71銭）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境などをふまえ、2018年5月10日に公表いたしました2019年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

2019年3月期通期連結業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	301,300	17,000	18,000	10,000	97.32
今回修正予想（B）	301,700	18,000	19,600	11,600	112.89
増減額（B－A）	400	1,000	1,600	1,600	—
増減率（%）	0.1	5.9	8.9	16.0	—
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	291,897	16,288	17,207	9,353	91.02

（注）1. 上記の予想は、本資料発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,630	59,041
受取手形及び売掛金	48,575	51,856
有価証券	8,654	7,668
商品及び製品	10,828	11,494
仕掛品	1,963	1,848
原材料及び貯蔵品	4,740	4,803
その他	6,049	6,444
貸倒引当金	△194	△137
流動資産合計	141,245	143,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,211	29,805
機械装置及び運搬具(純額)	12,794	11,973
土地	32,322	32,272
リース資産(純額)	3,554	3,352
建設仮勘定	2,428	4,429
その他(純額)	1,872	1,921
有形固定資産合計	83,182	83,751
無形固定資産		
のれん	9,400	7,690
商標権	25,296	24,977
ソフトウェア	1,701	1,502
契約関連無形資産	26,820	26,337
ソフトウェア仮勘定	164	248
その他	1,059	1,013
無形固定資産合計	64,441	61,767
投資その他の資産		
投資有価証券	76,841	80,610
長期貸付金	349	340
繰延税金資産	2,008	1,993
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	3,981	4,317
破産更生債権等	712	707
その他	6,009	6,552
貸倒引当金	△903	△897
投資その他の資産合計	89,996	94,623
固定資産合計	237,619	240,140
資産合計	378,864	383,158

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,877	22,449
電子記録債務	1,465	1,469
短期借入金	5,858	6,361
1年内償還予定の社債	26	26
リース債務	620	585
未払金	16,601	13,828
未払法人税等	4,331	3,674
賞与引当金	409	442
役員賞与引当金	95	51
株主優待引当金	90	93
その他の引当金	15	—
資産除去債務	4	9
その他	6,256	6,267
流動負債合計	56,648	55,254
固定負債		
社債	52	39
長期借入金	573	463
リース債務	3,018	2,853
長期末払金	254	217
繰延税金負債	26,570	27,242
役員退職慰労引当金	296	306
債務保証損失引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,728	1,753
資産除去債務	843	835
長期預り保証金	4,643	5,043
その他	517	556
固定負債合計	38,496	39,311
負債合計	95,145	94,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,107	23,107
利益剰余金	188,258	191,768
自己株式	△17	△20
株主資本合計	221,296	224,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,614	27,545
繰延ヘッジ損益	△5	39
為替換算調整勘定	1,763	1,033
退職給付に係る調整累計額	3,147	3,103
その他の包括利益累計額合計	30,518	31,720
非支配株主持分	31,905	32,069
純資産合計	283,719	288,593
負債純資産合計	378,864	383,158

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	143,434	145,766
売上原価	80,039	81,217
売上総利益	63,395	64,549
販売費及び一般管理費	55,939	55,978
営業利益	7,456	8,572
営業外収益		
受取利息	172	152
受取配当金	350	360
持分法による投資利益	35	24
受取家賃	386	382
為替差益	—	235
その他	100	173
営業外収益合計	1,043	1,325
営業外費用		
支払利息	43	40
賃貸費用	317	307
為替差損	74	—
その他	54	127
営業外費用合計	489	474
経常利益	8,010	9,423
特別利益		
固定資産売却益	7	3
投資有価証券売却益	—	376
受取補償金	—	37
店舗売却益	90	84
負ののれん発生益	57	—
その他	6	4
特別利益合計	160	504
特別損失		
固定資産売却損	0	5
固定資産除却損	63	75
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	2
会員権評価損	0	—
減損損失	362	241
その他	15	9
特別損失合計	440	331
税金等調整前四半期純利益	7,730	9,595
法人税等	2,797	3,291
四半期純利益	4,933	6,305
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,328	5,565
非支配株主に帰属する四半期純利益	605	740

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,270	2,062
繰延ヘッジ損益	△80	43
為替換算調整勘定	△496	△800
退職給付に係る調整額	231	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△6
その他の包括利益合計	2,934	1,262
四半期包括利益	7,867	7,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,223	6,767
非支配株主に係る四半期包括利益	644	799

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,730	9,595
減価償却費	4,442	4,443
のれん償却額	1,789	1,710
減損損失	362	241
持分法による投資損益(△は益)	△35	△24
負ののれん発生益	△57	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2
会員権評価損	0	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△63
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	△44
株主優待引当金の増減額(△は減少)	3	3
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
その他の引当金の増減額(△は減少)	△26	△15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	144	△364
受取利息及び受取配当金	△522	△512
支払利息	43	40
為替差損益(△は益)	△14	△162
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△376
固定資産売却損益(△は益)	△7	2
固定資産除却損	63	75
店舗売却損益(△は益)	△90	△84
売上債権の増減額(△は増加)	△4,025	△3,383
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,489	△679
仕入債務の増減額(△は減少)	2,475	1,576
未払賞与の増減額(△は減少)	82	25
その他の資産の増減額(△は増加)	115	△848
その他の負債の増減額(△は減少)	222	△729
小計	11,168	10,438
利息及び配当金の受取額	521	540
利息の支払額	△47	△42
法人税等の支払額	△2,626	△4,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,017	6,784

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△678	△404
定期預金の払戻による収入	2,443	355
有価証券の取得による支出	△3,188	△1,000
有価証券の売却による収入	6,024	4,400
有形固定資産の取得による支出	△4,582	△4,858
有形固定資産の売却による収入	7	7
店舗売却による収入	298	195
無形固定資産の取得による支出	△250	△427
投資有価証券の取得による支出	△1,565	△4,632
投資有価証券の売却による収入	300	670
会員権の売却による収入	0	—
出資金の回収による収入	—	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,266	—
子会社の清算による収入	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,456	△5,693
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	33,230	31,974
短期借入金の返済による支出	△32,754	△31,507
リース債務の返済による支出	△428	△343
長期借入金の返済による支出	△170	△50
社債の償還による支出	—	△13
自己株式の取得による支出	△2	△2
子会社の自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,747	△2,055
非支配株主への配当金の支払額	△303	△635
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,175	△2,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	△173	△157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,213	△1,698
現金及び現金同等物の期首残高	55,594	60,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,807	58,504

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」および「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(会計方針の変更)

(在外子会社等の収益および費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社等の収益および費用は、従来、当該在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。当社グループは海外売上高の拡大・グローバル展開を推進しており、在外子会社等における海外売上高の重要性が今後さらに増加することが見込まれるため、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社等の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、在外子会社等の収益および費用を期中平均相場により円貨に換算する方法が合理的であると判断したためであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	64,846	17,024	10,648	25,805	25,085	143,407	—	143,407	27	143,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,060	102	80	4	5,491	7,737	—	7,737	△7,737	—
計	66,906	17,127	10,727	25,808	30,576	151,144	—	151,144	△7,710	143,434
セグメント利益又は 損失(△)	4,770	840	1,416	△39	966	7,953	—	7,953	△497	7,456

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△497百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、362百万円計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	65,841	16,836	12,186	25,730	25,151	145,745	—	145,745	21	145,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,067	130	46	8	5,606	7,858	—	7,858	△7,858	—
計	67,909	16,966	12,233	25,739	30,757	153,603	—	153,603	△7,837	145,766
セグメント利益又は 損失(△)	5,539	1,104	1,668	△142	1,190	9,359	—	9,359	△788	8,572

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△787百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、241百万円計上しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	18.3期第2四半期		19.3期第2四半期		18.3期 通期		19.3期 通期修正目標	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	143,434	104.7%	145,766	101.6%	291,897	102.8%	301,700	103.4%
営業利益	7,456	139.3%	8,572	115.0%	16,288	132.3%	18,000	110.5%
経常利益	8,010	149.0%	9,423	117.6%	17,207	123.3%	19,600	113.9%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,328	102.9%	5,565	128.6%	9,353	107.7%	11,600	124.0%
包括利益	7,867	1165.1%	7,566	96.2%	21,547	191.6%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	66,906	46.7%	67,909	46.6%	139,937	48.0%	143,200	47.5%
健康食品事業	17,127	11.9%	16,966	11.6%	31,599	10.8%	32,000	10.6%
海外食品事業	10,727	7.5%	12,233	8.4%	22,855	7.8%	26,300	8.7%
外食事業	25,808	18.0%	25,739	17.7%	51,974	17.8%	53,100	17.6%
その他食品関連事業	30,576	21.3%	30,757	21.1%	61,024	20.9%	62,900	20.8%
調整額	△ 7,710	△ 5.4%	△ 7,837	△ 5.4%	△ 15,492	△ 5.3%	△ 15,800	△ 5.2%

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	4,770	64.0%	5,539	64.6%	12,081	74.2%	13,000	72.2%
健康食品事業	840	11.2%	1,104	12.9%	907	5.6%	1,500	8.3%
海外食品事業	1,416	19.0%	1,668	19.5%	2,847	17.5%	3,400	18.9%
外食事業	△ 39	△ 0.5%	△ 142	△ 1.7%	△ 406	△ 2.5%	△ 300	△ 1.7%
その他食品関連事業	966	13.0%	1,190	13.9%	1,865	11.4%	2,000	11.1%
調整額	△ 497	△ 6.7%	△ 788	△ 9.2%	△ 1,008	△ 6.2%	△ 1,600	△ 8.9%

(2) グループ会社数

	18.3期第2四半期	19.3期第2四半期	18.3期
連結子会社数	38社	37社	37社
国内	15社	14社	14社
海外	23社	23社	23社
持分法適用関連会社	4社	4社	4社
国内	2社	2社	2社
海外	2社	2社	2社

《19.3期第2四半期主要子会社実績》

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		四半期純利益	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
ハウス食品(株)	63,065	100.6%	5,175	117.9%	3,775	117.9%
ハウスウェルネスフーズ(株)	16,966	99.1%	1,103	130.9%	853	124.1%
ハウスフーズアメリカ社(連結)	6,654	107.3%	600	96.1%	433	108.3%
㈱杏番屋(連結)	24,801	100.4%	2,361	94.6%	1,590	95.1%

※連結対象期間 ハウスフーズアメリカ社：2018年1月～6月 ㈱杏番屋：2018年3月～8月

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	18.3期第2四半期		19.3期第2四半期		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	143,434	100.0%	145,766	100.0%	2,332	1.6%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	66,906	46.7%	67,909	46.6%	1,003	1.5%
健康食品事業	17,127	11.9%	16,966	11.6%	△160	△0.9%
海外食品事業	10,727	7.5%	12,233	8.4%	1,505	14.0%
外食事業	25,808	18.0%	25,739	17.7%	△69	△0.3%
その他食品関連事業	30,576	21.3%	30,757	21.1%	181	0.6%
調整額	△7,710	△5.4%	△7,837	△5.4%	△127	—
売上原価	80,039	55.8%	81,217	55.7%	1,178	1.5%
販売費・一般管理費	55,939	39.0%	55,978	38.4%	39	0.1%
広告宣伝費	4,783	3.3%	4,516	3.1%	△266	△5.6%
運送費及び保管費	4,974	3.5%	5,115	3.5%	141	2.8%
販売手数料	1,213	0.8%	806	0.6%	△406	△33.5%
販売促進費	15,384	10.7%	15,966	11.0%	582	3.8%
人件費	14,599	10.2%	14,704	10.1%	105	0.7%
研究開発費	1,921	1.3%	2,015	1.4%	94	4.9%
のれん償却額	1,789	1.2%	1,710	1.2%	△79	△4.4%
営業利益	7,456	5.2%	8,572	5.9%	1,116	15.0%
営業外収益	1,043	0.7%	1,325	0.9%	281	27.0%
営業外費用	489	0.3%	474	0.3%	△15	△3.1%
経常利益	8,010	5.6%	9,423	6.5%	1,413	17.6%
特別利益	160	0.1%	504	0.3%	344	214.9%
特別損失	440	0.3%	331	0.2%	△109	△24.8%
税金等調整前四半期純利益	7,730	5.4%	9,595	6.6%	1,865	24.1%
法人税等	2,797	1.9%	3,291	2.3%	494	17.7%
四半期純利益	4,933	3.4%	6,305	4.3%	1,371	27.8%
(内訳)					0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,328	3.0%	5,565	3.8%	1,237	28.6%
非支配株主に帰属する四半期純利益	605	0.4%	740	0.5%	135	22.3%
四半期包括利益	7,867	5.5%	7,566	5.2%	△301	△3.8%

② 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

売上総利益の増加	1,155
運送費及び保管費の増加	△ 141
研究開発費の増加	△ 94
マーケティングコスト（広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計）の減少	90
その他費用の減少	106

③ 営業外損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	18.3期第2四半期	19.3期第2四半期	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	172	152	△ 21
受取配当金	350	360	10
持分法による投資利益	35	24	△ 11
為替差益	—	235	235
受取家賃	386	382	△ 4
その他	100	173	73
営業外収益計	1,043	1,325	281
支払利息	43	40	△ 3
為替差損	74	—	△ 74
賃貸費用	317	307	△ 11
その他	54	127	73
営業外費用計	489	474	△ 15

④ 特別損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	18.3期第2四半期	19.3期第2四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	7	3	△ 4
投資有価証券売却益	—	376	376
負ののれん発生益	57	—	△ 57
店舗売却益	90	84	△ 6
受取補償金	—	37	37
その他	6	4	△ 2
特別利益計	160	504	344
固定資産売却損	0	5	4
固定資産除却損	63	75	11
投資有価証券売却損	0	—	△ 0
会員権評価損	0	—	△ 0
減損損失	362	241	△ 121
その他	15	11	△ 3
特別損失計	440	331	△ 109

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	18.3期末		19.3期 第2四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	141,245	37.3%	143,017	37.3%	1,772	受取手形及び売掛金の増加 3,281 商品及び製品の増加 666 現金及び預金の減少 △ 1,589 有価証券の減少 △ 985
固定資産	237,619	62.7%	240,140	62.7%	2,522	投資有価証券の増加 3,770 建設仮勘定の増加 2,001 のれんの減少 △ 1,710 機械装置及び運搬具の減少 △ 821
資産合計	378,864	100.0%	383,158	100.0%	4,294	
流動負債	56,648	14.9%	55,254	14.4%	△ 1,394	未払金の減少 △ 2,773 未払法人税等の減少 △ 657 支払手形及び買掛金の増加 1,573
固定負債	38,496	10.2%	39,311	10.3%	814	繰延税金負債の増加 672
負債合計	95,145	25.1%	94,565	24.7%	△ 580	
株主資本合計	221,296	58.4%	224,804	58.7%	3,508	利益剰余金の増加 3,510
その他の包括利益 累計額合計	30,518	8.1%	31,720	8.3%	1,202	その他有価証券評価差額金の増加 1,931 為替換算調整勘定の減少 △ 729
非支配株主持分	31,905	8.4%	32,069	8.4%	164	
純資産合計	283,719	74.9%	288,593	75.3%	4,874	
負債純資産合計	378,864	100.0%	383,158	100.0%	4,294	

(5) 連結キャッシュ・フローの状況

《連結キャッシュ・フローの主な増減内容》

(単位：百万円)

	18.3期第2四半期 累計期間	19.3期第2四半期 累計期間	対前年同期 増減	主な増減内容
営業活動による キャッシュ・フロー	9,017	6,784	△ 2,233	法人税等の支払額 △ 1,527 その他の資産の増減額 △ 963 その他の負債の増減額 △ 951 仕入債務の増減額 △ 899 退職給付に係る負債の増減額 △ 507 税金等調整前四半期純利益 1,865
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,456	△ 5,693	△ 3,237	投資有価証券の取得による支出 △ 3,067 定期預金の払戻による収入 △ 2,088 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 1,266
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,175	△ 2,631	△ 456	短期借入れによる収入 △ 1,255 非支配株主への配当金の支払 △ 332 親会社による配当金の支払 △ 308 短期借入金の返済による支出 1,247
現金及び現金同等物 四半期末残高	59,807	58,504	△ 1,302	

(6) 設備投資の状況

《連結》 (単位：百万円)

	18.3期 第2四半期	19.3期 第2四半期
設備投資	3,210	4,634
リース	362	288
合計	3,572	4,922

(7) 減価償却費の状況

《連結》 (単位：百万円)

	18.3期 第2四半期	19.3期 第2四半期
減価償却費	4,442	4,443
支払リース料	160	184
合計	4,602	4,627

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

(8) 主要経営指標等

《連結》

	19.3期第2四半期	18.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	54.16 円	91.02 円
一株当たり純資産	2,496.56 円	2,450.71 円
総資本回転率	—	0.80 回
売上高営業利益率	5.9 %	5.6 %
売上高経常利益率	6.5 %	5.9 %
総資産経常利益率	—	4.7 %
自己資本当期純利益率	—	3.8 %
自己資本比率	67.0 %	66.5 %
流動比率	258.8 %	249.3 %
固定比率	93.6 %	94.4 %
負債比率	36.9 %	37.8 %

一株当たり配当金	22.00 円	38.00 円
配当性向	40.6 %	41.7 %
利益配分の基本方針に基づく配当性向	31.1 %	30.4 %

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従業員数	6,275 人	6,273 人
------	---------	---------

◎休職者・パートを含みません。

(9) 通期目標

《連結》

(単位：百万円)

	18.3期	19.3期 修正目標	対前期増減
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	139,937	143,200	3,263
健康食品事業	31,599	32,000	401
海外食品事業	22,855	26,300	3,445
外食事業	51,974	53,100	1,126
その他食品関連事業	61,024	62,900	1,876
調整額	△ 15,492	△ 15,800	△ 308
売上高	291,897	301,700	9,803
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	12,081	13,000	919
健康食品事業	907	1,500	593
海外食品事業	2,847	3,400	553
外食事業	△ 406	△ 300	106
その他食品関連事業	1,865	2,000	135
調整額	△ 1,008	△ 1,600	△ 592
営業利益	16,288	18,000	1,712
経常利益	17,207	19,600	2,393
親会社株主に帰属する当期純利益	9,353	11,600	2,247
包括利益	21,547	-	-

《連結設備投資》

(単位：百万円)

	18.3期	19.3期 修正目標
設備投資	10,215	12,000
リース	484	1,000
合計	10,699	13,000

《連結減価償却費》

(単位：百万円)

	18.3期	19.3期 修正目標
減価償却費	9,126	9,000
支払リース料	330	300
合計	9,456	9,300

《配当金》

(単位：百万円)

	18.3期	19.3期 修正目標
配当金 (1株当たり)	38.00円	44.00円
配当性向	41.7%	39.0%
利益配分の基本方針に基づく 配当性向	30.4%	30.1%

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

(10) 参考情報

① 国内市場規模 (ハウス食品調べ)

(単位: 億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
ルウカレー	499	485	519	503	474
ルウシチュー	188	181	187	180	181
ルウハヤシ	62	61	65	63	61
レトルトカレー	512	508	516	539	559
スパイストータル	669	674	691	703	715

② ルウカレー市場動向 (S R I)

2019.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
マーケット 全体	平均売価	189 円	190 円			189 円		
	前年差	△ 1 円	△ 1 円			△ 1 円		
ハウス食品	平均売価	192 円	191 円			192 円		
	前年差	+ 0 円	△ 1 円			△ 1 円		
	金額シェア	62.1 %	61.9 %			62.0 %		

出典: (株)インテージS R I 月次データ (2018.4 - 2018.9)

③ 主要カテゴリー別売上高前年比 (出荷金額ベース) の状況

2019.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
香辛・調味加工食品事業								
	ルウカレー計	99.0 %	99.2 %			99.1 %		
	レトルトカレー計	98.7 %	109.5 %			104.1 %		
	ルウシチュー計	107.9 %	88.8 %			93.6 %		
	ルウハヤシ計	99.4 %	104.2 %			101.6 %		
	スパイス計	99.3 %	101.4 %			100.3 %		
健康食品事業								
	ウコンのカ	89.1 %	85.1 %			87.0 %		
	C1000	90.2 %	100.3 %			95.3 %		
	1日分のビタミン	133.1 %	135.2 %			134.2 %		